

地域連携NEWS

渕野辺総合病院
メディカルサポートセンター地域医療連携課

✿ 新年のご挨拶 ✿



明けましておめでとうございます。

昨年は医療・介護にとって、とり分け急性期病院にとっては苦難の年でした。

物価高騰により、診療報酬では到底運営が賄いきれず、多くの病院が厳しい状況に追い込まれました。

補正予算による支援も、多少の赤字幅の縮小になるものの焼け石に水であり、新年度の改訂次第では地域の病院が立ち行かなくなると思われます。地域の医療を守るため、医療・介護全てのステークホルダーが負担を公平に分け、支える仕組みが必要です。

人材不足もさらに深刻さを増していく中、これから医療のあり方について、市民・行政・医療介護提供側が一体となって取り組んでいかなければなりません。その中で今年いの一番のやるべきことは、病院の状況を理解して、そこから崩壊を防ぐことと痛感します。

本年もよろしくお願い致します。



医療法人社団 相和会

理事長 土屋 敦

新年明けましておめでとうございます。

約800万人の団塊の世代が、すべて後期高齢者となることで起こる諸問題が2025年問題の根幹でした。医療提供体制の再編や、在宅医療・地域包括ケアが主流になって、病院中心から「自宅中心」へと変化し、訪問診療や訪問介護の需要が急増しているのが現状です。しかし、介護人材の不足や、高齢者の急増による社会保障費の増大で介護費や医療費への圧迫が大きくなっているのも現実で、政府も様々な対策を練っているところです。

高齢化により、治療よりも管理・ケア中心の入院が増加することが予想され、当院でも、健診センターの移転したスペースに、地域包括ケア病棟を増床しました。「急性期→回復期→在宅」の流れを確立し、地域の皆様のニーズに応えるべく今後も邁進していく所存です。

本年の皆様のご健勝を、心からお祈りいたします。



渕野辺総合病院

病院長 世良田 和幸

謹んで新春をお祝い申し上げます。

平素より当院の診療・医療連携に多大なるご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

現在、医療を取り巻く環境は大変厳しく、医療機関には柔軟かつ迅速な対応が求められております。こうした中、当院では本年より新たに30床の包括ケア病棟を開設し、急性期から在宅・地域への円滑な移行を一層支えてまいります。

変化し続ける事を恐れず、地域の皆様にとって必要とされる医療を提供するためには、医療機関同士の連携が不可欠です。本年も引き続き、密接な医療連携を通じて地域医療の発展に貢献してまいりたいと存じます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。



渕野辺総合病院

副病院長

メディカルサポートセンター長

小池 幸宏

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は渕野辺総合病院の診療ならびに地域医療連携に格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

物価高騰や人材不足など、医療を取り巻く環境は厳しさを増すばかりですが、当院では新年度より地域包括ケア病棟を開設し、急性期医療から回復期、在宅復帰まで切れ目のない医療体制で地域に貢献したいと考えております。あわせて昨年度開設した『健診ステーションさがみはら』との連携強化、健診部機能の充実化を図り予防医学にも注力し、疾患の早期発見・重症化予防を通じて地域の健康を支えてまいります。

今後ともより緊密な連携を賜りますようお願い申し上げます。



渕野辺総合病院

副病院長 阿部 典文

あけましておめでとうございます。新年を迎え謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

地域の皆様、また関係者の皆様におかれましては、日頃より多大なるご理解とご協力を賜り、改めまして深く感謝申し上げます。

今年は午年(丙午)です。AIによると午年は十二支の7番目で、力強く前進する馬のように物事が順調に進み、幸運が駆け込んでくる「躍動感」や「力強さ」を象徴するのだそうです。私たちも力強く前進し、躍動する年にしていきたいですね。

超高齢時代にあり、地域の皆様の健康に寄与するためには病診連携、病病連携、そして地域連携が非常に重要です。当院は2026年1月に地域包括ケア病棟30床を新たにオープンいたしました。急性期病院からの受け入れはもちろんですが在宅で暮らすことを支える一助となりますように、地域で活動されている皆様と連携し、その役割を果たしていくよう取り組んでまいりますので、本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



渕野辺総合病院

副病院長

看護部長 横井 弥生

12月16日(火)に渕野辺総合病院 病診連携懇話会を開催いたしました。ご列席いただきました皆様には、ご足労いただき、誠にありがとうございました。

懇話会の様子は、次回以降の地域連携NEWSに掲載させていただきたいと思います。

今後も、より良い病診連携を築けるよう精進してまいりますので、よろしくお願ひいたします。

メディカルサポートセンター 一同

